

令和元年度かいぼり結果概要報告【猿江恩賜公園：上池】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和元年 11 月 2 日

【天 候】 晴れ、曇り

【生物調査参加者数】

ボランティア 12 人・関係者約 30 人

2. 結果概要

【水 質】 かいぼり直後、COD、BOD、T-P は減少し、かいぼり後の COD、T-N、T-P はかいぼり前よりも高い数値となりました。かいぼり直後の SS は大幅に減少し、透視度も高くなりました。かいぼり後の SS は、かいぼり前の 2 倍以上に増加、透視度もかいぼり前より低くなりました。SS、COD、T-N、T-P がかいぼり前よりも増加した原因は、流入水の水質や池の環境による影響などが考えられます。

【水生生物】 重要種であるスジエビは、かいぼり後も引き続き確認されています。一方で、特定外来生物に指定されているカダヤシやウシガエルも確認されており、今後も池の生物を見守っていく必要があります。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和元年度		令和2年度
		かいぼり前	かいぼり直後	かいぼり後
調査日		R1.8.6	R2.2.20	R2.8.3
天候		晴	晴	晴
気温	°C	34.5	12.5	27.5
水温	°C	34.5	10	29
透視度	cm	40	>50	25
ORP(酸化還元電位)	mV	+158	+416	+160
pH(水素イオン指数)		9.1	8.4	8.6
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	12	7.7	23
BOD(生物学的酸素消費量)	mg/L	3.2	1.5	2.9
T-N(全窒素)	mg/L	0.72	0.75	1.06
T-P(全リン)	mg/L	0.043	0.034	0.078
DO(溶存酸素)	mg/L	12.4	11.9	9.3
SS(浮遊物質量)	mg/L	11	<1	28

捕獲した生物と個体数

和 名	令和元年度			令和2年度		重要種 環境省RL (2020) ^{注1}	東京都RDB (2013) ^{注2} 区部	外来種 ^{注3}
	かいぼり前	かいぼり時	かいぼり後	環境省RL (2020) ^{注1}	東京都RDB (2013) ^{注2} 区部			
	R1.7.27	R1.11.2	R2.7.22					
カワリヌマエビ属			1					○
スジエビ		102	4				留意種	
アメリカザリガニ	11	593	12					○
モツゴ	21	6,932	18					
タモロコ		1						
ドジョウ		35		NT				
カダヤシ			3					○
グッピー		20						○
トウヨシノボリ類	2	1,155	19					
ウシガエル		13	1					○

水生昆虫を除く/かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト 2020 ※2 レッドデータブック東京 2013

※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと

